

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：款：土木費 項：土木管理費 目：土木総務費

### 事業名 電子入札システム入札情報サービス利用費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部 技術検査課 建設情報係 電話番号：058-272-1111（内4571）

E-mail : c11656@pref.gifu.lg.jp

#### 1 事 業 費

1,793 千円 （前年度予算額： 1,540 千円）

#### <財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支 出 金	分 担 金 負 担 金	使 用 料 手 数 料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	1,540	0	0	0	0	0	769	0
要求額	1,793	0	0	0	0	0	896	0
決定額	1,793	0	0	0	0	0	896	0

#### 2 要 求 内 容

##### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

現行の電子入札システムは、登録した入札の経過、結果及び契約情報並びに発注見通しについて、平成16年度より一般財団法人 日本建設情報総合センター（以下、JACICという。）が提供する「全国版入札情報サービス」（以下、統合PPIという。）と連携することにより、インターネット上に公開しているため、統合PPIのサービス利用料を支払う必要がある。

##### (2) 事業内容

・令和8年度における統合PPIの利用契約については、県が一括で単年度契約し、市町負担分については、県と参加団体で協定書を締結し、歳入する。

① 電子入札システム入札情報サービス利用費 1,793千円  
・JACICの統合PPI利用料 1,793千円

### 県と市町村の実質財政負担

年度	R08
県	897
市町村	896
合計	1,793

#### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・県 5／10

(各市町村の負担額の端数処理により、市町村負担額の合計は896千円)

#### (4) 類似事業の有無

- ・無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
使用料及び賃借料	1,793	統合 PPI 利用料
合計	1,793	

### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

電子入札については岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画について、電子入札100%の実現を打ち出している。当要求についても電子入札の推進のため不可欠なものである。

#### (2) 国・他県の状況

JACICの統合PPIについては、国の機関でも利用されている。他県においては、独自に入札情報サービス機能を構築している。

#### (3) 後年度の財政負担

単年度契約のため、毎年度予算要求を行う。

#### (4) 事業主体及びその妥当性

電子入札システムについては、県にて予算要求及び契約を行い、市町村に費用を負担させる形式をとっており、密接に関係する本要求についても、同様とするのが望ましい。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

入札等の情報の公表をインターネットを利用して行うことにより、①入札業務の効率化・適正化、②地理的・時間的制約条件の解消、③競争の広域的確保、④透明性の確保をはかる

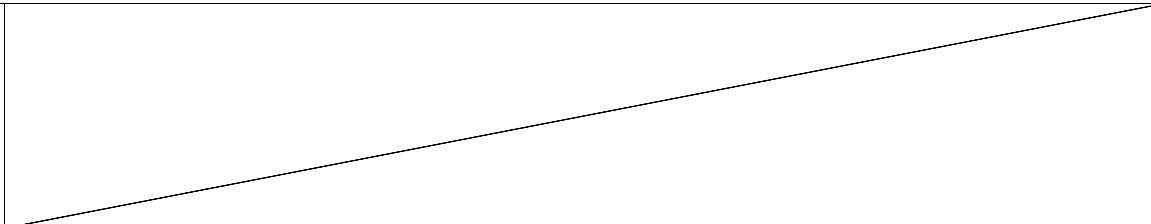
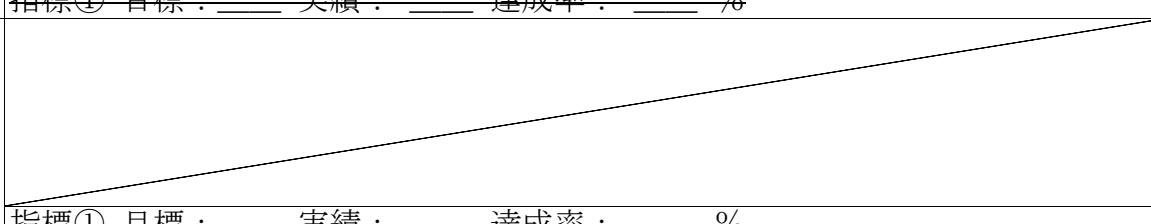
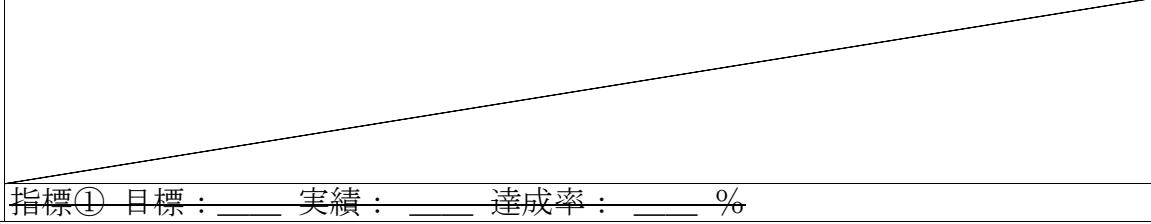
### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

平成16年の運用開始以来、入札業務時に使用されており、業務に組み込まれて利用されている。

### （これまでの取組内容と成果）

令和 4 年 度	 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 5 年 度	 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 6 年 度	 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

- 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
(評価)	

### (今後の課題)

- 事業が直面する課題や改善が必要な事項  
なし

### (次年度の方向性)

- 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか  
事務処理の効率化のために今後も必要な事業である。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	